

令和8年度 第2回事業評価監視委員会 一括審議案件一覧（事業進捗等に大きな変更がない事業）

No. 11－1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
（令和8年度 第2回）

事業名 （箇所名）	実施箇所	事業期間等 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	総事業費 （億円） 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	事業概要	事業を巡る 社会経済情勢等 の変化	事業の 進捗状況	事業の進捗 の見込み	コスト削減や代替案等の改善	事業の投資効率性		都道府県・政令市等 の意見	対応方針 （原案）
一般国道8号 米原バイパス	滋賀県長浜市加田町～滋賀県彦根市佐和山町	S41年度～R8年度 S41年度～R13年度 （＋8％）	700億円 700億円 （±0％）	米原バイパスは、一般国道8号の一部として幹線道路のネットワークを強化するとともに、交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援などを目的とした道路である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 約93％	現在、事業進捗上の大きな課題は生じておらず、引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。	今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B ：24,190億円 総費用C ：4,374億円 B／C＝5.5	【残事業】 総便益B ：1,991億円 総費用C ：1,139億円 B／C＝1.7	【滋賀県知事】 「対応方針（原案）」のとおり「事業継続」で異論はありません。 一般国道8号米原バイパスは、令和7年9月23日に2.2km区間の整備により全線が供用開始され、交通環境の改善などの整備効果が現れているところ。 その先線となる彦根東近江バイパス（1期）が本年4月に新規事業化されたことによって、現道の主要渋滞箇所が連なる区間の解消や、交通事故の減少、物流効率の改善など、より大きな整備効果が発現されることを期待しています。 地元は、交通渋滞等の課題解消はもとより、地域の産業振興、観光振興にも大きな期待を寄せていることから、徹底したコスト削減も図りつつ、迅速な事業推進をお願いします。 本県としても事業推進のため必要な地元調整や用地取得等、沿線市町と協力して最大限の努力をしております。	事業継続
一般国道8号 彦根東近江バイパス（1期）	滋賀県彦根市佐和山町～滋賀県大上郡多賀町敏満寺	R8年度～R17年度 R8年度～R17年度 （±0％）	860億円 860億円 （±0％）	彦根東近江バイパス（1期）は一般国道8号の一部として幹線道路のネットワークを強化するとともに、交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援などを目的とした道路である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 0％	現在、事業進捗上の大きな課題は生じておらず、引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。	今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。				
一般国道175号 神出バイパス	兵庫県神戸市西區平野町常本～兵庫県神戸市西區神出町小東野	S61年度～R9年度 S61年度～R13年度 （＋9％）	224億円 246億円 （＋9％）	神出バイパスは、神戸市西部における交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的とした道路である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 約74％	境界確定に時間を要したため用地残物件があるものの、現在、事業進捗上の大きな課題は生じておらず、引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。	主たる施設の構造等に関する事業計画等の改善を実施することで事業の効率化を図り、また、暫定2車線区間の4車線化整備時に、既存照明設備を活用することで、コスト削減を図る。 今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら事業を推進していく。 ＜「交差点計画の見直し」による改善内容＞ 交差点閉鎖により分断される東西の歩行者、自転車の往来が、地下道の設置により容易となり、平面交差点の横断が無いことから、安全性が向上する。また、信号交差点が少なくなることから、神出バイパスの更なる交通の円滑化が期待される。	【事業全体】 総便益B ：899億円 総費用C ：568億円 B／C＝1.6	【残事業】 総便益B ：291億円 総費用C ：70億円 B／C＝4.2	【神戸市長】 国道175号神出バイパスは、神戸市西部地域の経済活動や、災害時の緊急輸送道路、安全な交通の確保など、市民生活を支える上で重要な道路です。 しかし、暫定2車線区間における朝夕ピーク時の渋滞発生とそれに伴う周辺道路の混雑などが生じており、未整備区間の歩道の設置などによる安全性・快適性の向上と併せて、地域住民から早期整備が強く望まれています。 今回の事業費増について、交差点計画の見直しにより交通の安全確保と円滑化が図られることから、対応方針（原案）「事業改善継続」は妥当であると考えます。 引き続き、コスト削減に取り組みつつ、未整備区間と暫定2車線区間の早期供用に向けて事業推進をお願いいたします。	事業改善継続
一般国道165号 大和高田バイパス	奈良県香芝市穴虫～奈良県橿原市四条町	S43年度～R9年度 S43年度～R14年度 （＋8％）	930億円 930億円 （±0％）	大和高田バイパスは、奈良県香芝市から橿原市内の一般国道165号、周辺道路における交通混雑の緩和、交通安全の確保、観光振興の支援等を目的とした延長14.4kmの道路である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 約89％	現在、工事の着手に向け設計を進め物価変動の影響を検討。一部用地取得難航箇所があり、引き続き合意に向けた更なる協議が必要。引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。	重力式擁壁からプレキャストL型擁壁への変更により地盤改良範囲を縮小することでコスト削減を図る。 今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B ：4943億円 総費用C ：4069億円 B／C＝1.2	【残事業】 総便益B ：352億円 総費用C ：85億円 B／C＝4.1	【奈良県知事】 大和高田バイパスは、中間区間が未供用であるため、前後の供用区間の交通が並行する県道御所香芝線に流入し、當麻寺交差点から太田南交差点間では交通量が容量を超過しており、3箇所の交差点を含む区間が、平成25年に公表された「地域の主要渋滞箇所」となっています。 県では令和5年1月に、「地域の主要渋滞箇所」の1つである国道166号と御所香芝線が交差する竹内交差点において、左折複合レーンの設置、右折レーンの延伸を実施しましたが、当区間における交通渋滞は依然、解消できていません。 また、当区間の交通渋滞は、沿線市を含む中和地域から奈良県の3次救急医療体制を担う奈良県立医科大学付属病院への緊急搬送における速達性を阻害していることなどからも、地域住民の生活に大きく影響を及ぼしており、大和高田バイパスの未供用区間整備による円滑な交通の確保を図ることが必要です。 以上のことから、対応方針（案）のとおり事業継続が妥当と考えます。	事業継続
大和川総合水系環境整備事業	大阪府大阪市、堺市、松原市、八尾市、藤井寺市、柏原市、奈良県奈良市、大和郡山市、川西町、安堵町、斑鳩町、河合町、王寺町、三郷町	S57年度～R29年度 S57年度～R29年度 （±0％）	247 250 （＋1％）	大和川らしい河川環境を目指し、減少した瀬・淵や水際環境を再生することで、多様な生物の生息・生育・繁殖環境を保全・再生・創出する。 また、人と河川の豊かなふれあいの場の確保を目的に、河川管理用通路、親水護岸等を整備するとともに、沿川自治体と連携した河川空間の整備を図る。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 約92％	事業進捗上の大きな課題はなく、引き続き、順応的管理の体制を維持・確保した上で、事業を推進し、早期の完了を目指す。	今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B ：2,955億円 総費用C ：722億円 B／C＝4.1	【残事業】 総便益B ：615億円 総費用C ：9億円 B／C＝71.1	【大阪府知事】 ○引き続き、府負担額の軽減に向けて更なるコスト削減に努めるとともに、年度ごとの事業費の平準化を図ること ○また、整備後のモニタリング結果を踏まえ、より効果的な手法の検討を行い、整備を実施すること 【奈良県知事】 大和川総合水系環境整備事業は、大和川水系全体の河川環境の向上、地域と連携した水辺整備（かわまちづくり）による河川利用の推進のために重要な事業であることから、対応方針（案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。 なお、事業実施にあたっては、コスト削減に留意しつつ、計画的・効果的に実施されるようお願いいたします。	事業継続
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	奈良県奈良市、高市郡明日香村	S46年度～R22年度 S46年度～R22年度 （±0％）	929 929 （±0％）	我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議決定を経て事業化された、飛鳥区域及び平城宮跡区域からなる国営公園である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 （事業費） 約61％	飛鳥区域では高松塚周辺地区において公園館等の再整備を実施、平城宮跡区域では第一次大極殿院における建造物の復原整備を計画的に実施する。	今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B ：9,843億円 総費用C ：4,455億円 B／C＝2.2	【残事業】 総便益B ：589億円 総費用C ：387億円 B／C＝1.5		事業継続